ナンバリング	B①13	科目名	特別支援保育Ⅱ
担当形態	単独	担当教員	久保 瑤子
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③, ④		
テキスト	太田俊己 編著 青鞆社 2021年 「子どもと社会の未来を拓く障害児保育—インクルーシブな保育に向けて」		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	1単位・演習
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な子どもが共に過ごすことの意味を、子ども同士の育ちあいの視点から説明できる。 ・どの子も参加でき、過ごしやすい保育について自分なりに考察できる。 ・親やきょうだいなど障害児の家族の心理を知り、様々な関係機関との連携・協働の重要性を理解し、説明できる。 ・障害児もひとりの「こども」であり、特別支援保育は「保育の原点」であるという特別支援保育の本質を理解し、説明できる。 		
授業の概要	1年次の保育実習を踏まえて、改めて障害とは何かを概念・歴史的に整理すると同時に、特別支援保育にかかわる現状と課題を理解します。また、特別なニーズをもつ子にかかわる具体的な保育の事例を扱いながら、子ども同士の育ちあいや、「どの子も参加できる」保育のあり方について考えるワークを重ねます。更に、障害児の親・きょうだいなど家族の心理を理解し、保育者という立場で自分に何ができるのか、考える態度を育みます。		
授業計画	第1回 オリエンテーション：保育実習をふりかえる 第2回 「障害」の概念と障害児保育の歴史的変遷 第3回 特別支援保育にかかわる現状と課題 第4回 多様な子どもが共に過ごす意味とは(子ども同士の育ちあい) 第5回 多様な子どもが共に過ごす意味を「事例」から考える① 第6回 多様な子どもが共に過ごす意味を「事例」から考える② 第7回 多様な子どもを包み込む保育とは(個の視点と集団の視点) 第8回 多様な子どもを包み込む保育のあり方を「事例」から考える① 第9回 多様な子どもを包み込む保育のあり方を「事例」から考える② 第10回 個別の指導計画の作成 第11回 障害のある子の家族(親・きょうだい)の心理と支援① 第12回 障害のある子の家族(親・きょうだい)の心理と支援② 第13回 関係機関との連携と保育者の役割① 第14回 関係機関との連携と保育者の役割② 第15回 総まとめ：特別支援保育において大切なこと(グループワーク)		
準備学習と必要時間	・事前に授業で指定された課題には必ず取り組み、予習をしておくこと。		

	(必要時間:30分)。 ・毎週30分以上は、授業に関連する事例を調べたり、テレビや雑誌を読んだりする習慣を身に付けること。			
評価方法	・授業時間内の取り組み(参加状況・授業内ワークを含む) — 40% ・レポート — 60%			
参考文献	鯨岡峻編「最新保育講座 障害児保育」(第2版)ミネルヴァ書房 2013年			
特記事項	「特別支援保育Ⅰ」の単位を修得していない学生は、履修できません。			
課題へのフィードバック方法	レポートには、必要に応じてコメントを記入し、返却します。			
卒業・免許状・資格との関連	卒業	幼稚園教諭免許状		
	その他	保育士資格	必修	保育の内容・方法に関する科目
実務経験のある教員等による授業内容				